



本事業は、SDGsの「17 パートナシップで目標を達成しよう」に資する取組です。

2024年8月27日（火）

愛知県政策企画局国際課

国際戦略グループ

担当 木俣、中村

内線 2256、2448

ダイヤル 052-954-6130

愛知県経済産業局産業立地通商課

国際業務企画グループ

担当 篠田、鈴木

内線 5296、5298

ダイヤル 052-954-6356

愛知県建設局道路建設課

有料道路室公社管理・有料道路グループ

担当 浅井、末岡

内線 2711、2710

ダイヤル 052-954-6537

愛知県都市・交通局航空空港課

利用促進グループ

担当 大久保、丹羽

内線 2271、2283

ダイヤル 052-954-6133

## 知事の東南アジア渡航中の行事結果について

2024年8月26日（月）午前、ベトナム社会主義共和国・ハノイ市において、レ・アイン・トゥアン ベトナム交通運輸副大臣と面談しました。

また、午後には、グエン・ティ・ビック・ゴック ベトナム計画投資副大臣、ブイ・タイン・ソン ベトナム副首相兼外務大臣と面談しました。さらに、エアポートセールスのため、ベトナム航空のリー・ホン・ハ CEO と面談しました。

### 1 ベトナム交通運輸副大臣との面談（担当課：道路建設課有料道路室、航空空港課）

#### (1) 日時

2024年8月26日（月）午前11時から正午まで

（日本時間8月26日（月）午後1時から午後2時まで）

#### (2) 場所

ベトナム交通運輸省（ハノイ市）

#### (3) 面談者

レ・アイン・トゥアン ベトナム交通運輸副大臣

#### (4) 愛知県側出席者

大村秀章知事

植村公一政策顧問

名古屋商工会議所 うちだよしひこ 内田吉彦専務理事

一般社団法人 中部経済連合会 みやもとふみたけ 宮本文武常務理事

ジェトロ名古屋 ひらのしゅういち 平野修一 所長

ひろせのりこ 広瀬紀子ホーチミン・愛知観光大使

(5) 内容

大村知事は、ベトナム交通運輸省を訪問し、トゥアン交通運輸副大臣と面談しました。

大村知事は、「ベトナムは知事になってから6回目の訪問である。県内からは207社の企業が進出、トヨタ関連企業も入れれば300社以上となり、ベトナムへの投資額は愛知県が日本で一番である。愛知県とベトナムとの関係は非常に深く、ホーチミン市との『相互協力に関する覚書』や計画投資省との『経済交流に関する覚書』などベトナムの皆様との友好、経済連携を更に深めていきたい。」と発言しました。

そして、「愛知県は、2016年に日本で初めて有料道路を民間事業者に任せるコンセッション事業をスタートした。民間事業者が資金を生み出して、税金を使うことなく、新たな投資によって有料道路を拡充している。2018年にグエン・コック・ドン交通運輸副大臣が視察をされたが、その後6年が経過し、道路整備の拡充や管理における点検ロボットの導入、パーキングエリアの新設やイベントの開催など着実に利用者、交通量を増やしている。トゥアン交通運輸副大臣にも、是非日本に来ていただき、有料道路コンセッションの民間運営を御視察いただきたい。」と発言しました。

これに対し、トゥアン交通運輸副大臣は、「1999年から2000年の1年間、名古屋で日本の高速道路の研究を行った。日本における高速道路の取り組みは優れており、それを参考にして、ベトナムの道路整備や管理に活用している。また、ドン副大臣が視察した頃よりも整備が進んでいると伺ったので、今後、改めて視察させていただき、学ぶ必要がある。」と発言しました。

また、大村知事は、「コロナ禍後、中部国際空港からベトナムへの直行便を順次増やして頂き、感謝する。今回、ベドジェットエアを訪問し、ホーチミン線の新規就航をお願いした。また、本日、ベトナム航空も訪問し、ハノイ線及びホーチミン線の増便、ダナン線の新規就航をお願いする予定。御省からもサポートをお願いしたい。」と発言しました。

これに対し、トゥアン交通運輸副大臣は、「御要望は、そのとおりであり、我が省からも応援する。また、ダナンからの直行便だけでなく、南部都市のニャチャンとも結べるようであれば、当省も応援したい。また、ホーチミン市から30km離れているドンナイ省のロンタイン国際空港の整備をプロジェクト案件として実施している。今後、ホーチミン市周辺、ドンナイ省周辺の愛知県の企業が投資先として選んでいただけたらと思う。ロンタイン国際空港だが、今のところ、2026年にオープンする予定となっているが、それに関わるようなプロジェクトを多く考えている。例えば、周辺の交通インフラの整備としてロジスティクス、その他、ハイテク工業団地などである。それらの案件を是非、愛知県の企業にも関心を持ってもらい、検討していただければと思う。」と発言しました。

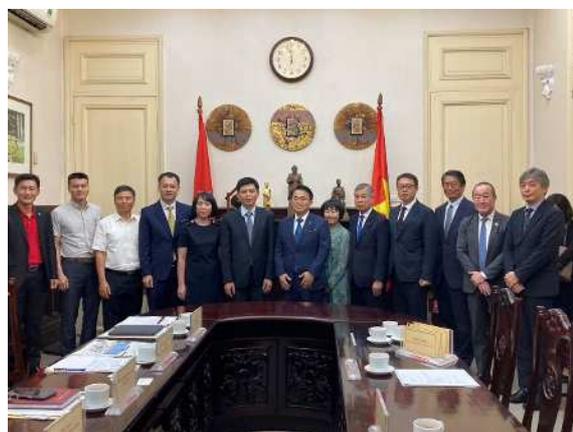
また、植村政策顧問からのコンセッションの取組に関するベトナムへの協力、連携の提案に対して、トゥアン交通運輸副大臣からは、「高速道路局が窓口であり、是非、道路の民営化について意見交換をしたい。」との発言がありました。経済界からは、名古屋商工会議所の内田専務理事、中部経済連合会の宮本常務理事から航空路線の充実について、伊藤大使からは、「今後も知事のトップセールスをサポートしていく。御省も

日本の製造業の中心である愛知県と経済連携することの意義をご認識いただき、積極的に意見交換をお願いします。」との発言がありました。

最後に大村知事は、「去年は、日越外交関係樹立 50 周年であり、今後も両国の関係が更に高まっていくことを期待している。」と発言し、今後の連携に向けて協力していくことを確認しました。



トゥアン交通運輸副大臣との  
面談の様子



出席者との記念撮影



トゥアン交通運輸副大臣との記念撮影

## 2 ベトナム計画投資副大臣との面談（担当課：産業立地通商課）

### （1）日時

2024年8月26日（月）午後2時05分から午後2時45分まで  
（日本時間8月26日（月）午後4時05分から午後4時45分まで）

### （2）場所

ベトナム計画投資省（ハノイ市）

### （3）面談者

グエン・ティ・ビク・ゴック ベトナム計画投資副大臣

### （4）愛知県側出席者

大村秀章知事

名古屋商工会議所 内田吉彦専務理事

一般社団法人 中部経済連合会 宮本文武常務理事

ジェットロ名古屋 平野修一所長

広瀬紀子ホーチミン・愛知観光大使

伊藤直樹駐ベトナム日本国特命全権大使

(5) 内容

初めに、ゴック計画投資副大臣は、ご自身が日本に留学経験があり、日本人の国民性や経済、社会について理解していることを紹介し、「我々の持つ情報によると、愛知県企業は230の案件でベトナムに投資しており、投資総額は15億USドルに上っている。トヨタやデンソー、ブラザーなど愛知県の代表的な企業もベトナムで活躍されている。今後、愛知県企業始め多くの日本企業をベトナムに誘致するにはどのようにすればいいのか意見交換したい。」と発言しました。

これに対し、大村知事は「愛知県は、2016年にホーチミン市との間で『相互協力に関する覚書』を締結している。今回もホーチミン市を訪問し、マイ人民委員会委員長、レ人民評議会議長とお会いさせていただいた。知事になってベトナム訪問は6回目であり、計画投資省への訪問は4回目で、その時々的大臣や副大臣にお会いしてきた。」とこれまで着実に交流を重ねてきたことを紹介した上で、「愛知県とベトナム計画投資省との間では『経済交流に関する覚書』を締結したが、これを契機に、計画投資省内に愛知県のサポートデスクを設置させていただいており、感謝申し上げます。サポートデスクを開設して15年になるが、これまで約600件もの相談に対応している。引き続き、愛知県サポートデスクの運営に御支援をお願いしたい。」と発言しました。

そして、大村知事は、愛知県とベトナムとの関係について「愛知県からは207社の企業がベトナムに投資をし、事業を行っているが、愛知県以外に本社を持つトヨタグループも含めると300を超える企業がベトナムで事業を行っている。ベトナムに投資した日本企業の中では愛知関連の企業が一番多い。」と説明し、「愛知県は、住友商事(株)及び双日(株)と協定を締結し、両社がベトナムで運営する工業団地に愛知県企業が進出する後押しをしている。愛知県の産業はトヨタを始めとする自動車産業や航空宇宙産業、ロボティクスなど製造業で日本一であり、ベトナムの経済としっかりと連携していきたい。」と両地域の更なる連携強化を呼びかけました。

さらに「2025年6月に日本企業やヨーロッパ企業、アジアの企業が参加する産業展示会である『AXIA EXPO 2025』を県内で開催する。ベトナム企業にも出展の声掛けをしているが、ベトナム計画投資省にも検討いただけるとありがたい。」と出展を要請しました。

続いて、面談に同席した伊藤大使は、「愛知県企業はベトナムへの投資の実績や、ベトナムの若い方を労働力として受け入れている実績もある。そして、日本の中で製造業の中心という県である。愛知県と経済連携が深まることは、ベトナム経済にとっても日本企業にとっても重要な意味がある。大村知事が自らトップセールスをなさって、愛知県とベトナムとの関係の強化に尽力されていることに敬意を表するとともに、大村知事から提案された事項についてベトナム計画投資省として具体的にフォローアップし、成果が出ることを心から期待している。」と発言しました。

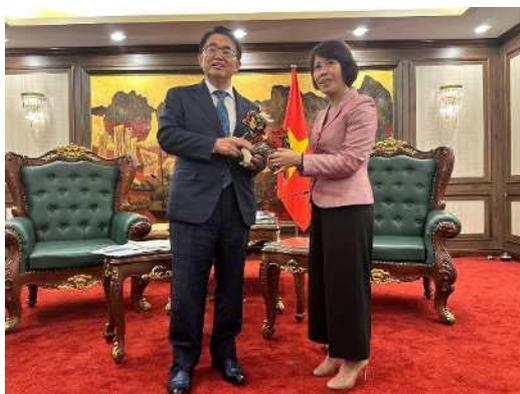
これに対して、ゴック計画投資副大臣は、「『AXIA EXPO 2025』は素晴らしいアイデアでありコンセプトだと思う。その情報をベトナム企業に発信していく。」と賛意

を表すとともに、『AXIA EXPO 2025』のテーマである次世代エネルギーや次世代型スマートシティ、GX・イノベーションという分野は、両国の企業にとっても関心が高まっているため、それらの分野をテーマとした投資促進セミナーを開催してはどうか。」と提案し、「ベトナムには、ホーチミン以外にも製造業が強い地方があるため、それらの地方との連携にもご協力をお願いしたい。」と両地域の更なる連携に期待感を表しました。

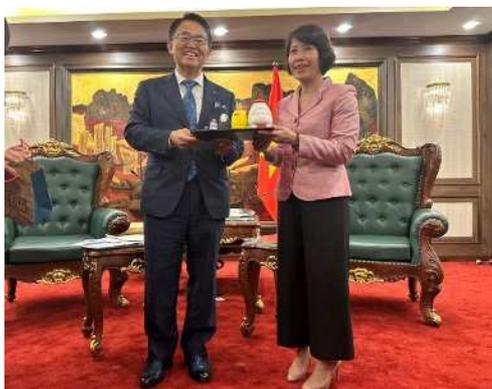
さらに「ホアラック・ハイテクパーク内に、ベトナム計画投資省直属のイノベーションセンターを開設している。このセンターではイノベーションを創出する企業やスタートアップを支援している。それらの企業に対して、優遇措置や各種手続きの簡素化などの特別なサポートを実施しているため、愛知県企業やスタートアップもこのセンターに入居することを歓迎する。」と発言し、愛知県企業からの投資促進を呼びかけました。



面談の様子



ゴック計画投資副大臣から  
大村知事へ記念品を贈呈



大村知事からゴック計画投資副大臣へ  
記念品を贈呈



出席者による記念撮影

### 3 ベトナム航空へのエアポートセールス（担当課：航空空港課）

#### (1) 日時

2024年8月26日（月）午後3時45分から午後4時45分まで

（日本時間8月26日（月）午後5時45分から午後6時45分まで）

#### (2) 場所

ベトナム航空本社（ハノイ市）

#### (3) 面談者

リー・ホン・ハ CEO

(4) 愛知県側出席者

大村秀章知事

名古屋商工会議所 内田吉彦専務理事

一般社団法人 中部経済連合会 宮本文武常務理事

ジェトロ名古屋 平野修一所長

広瀬紀子ホーチミン・愛知観光大使

中部国際空港株式会社 <sup>いぬづかりき</sup> 犬塚力代表取締役社長

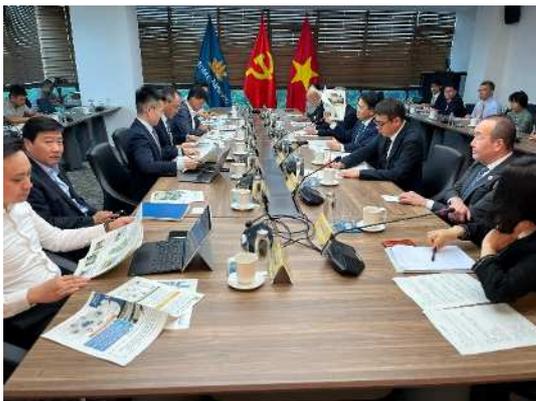
(5) 内容

大村知事は、ベトナム航空本社を訪問し、ハ CEO と面談しました。

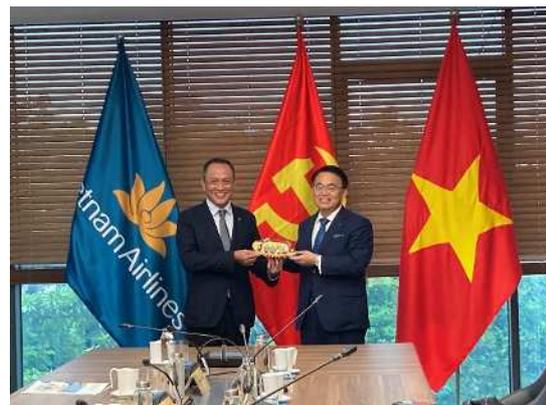
大村知事から、「ベトナムに進出している関係企業、ベトナム人の在住者は愛知県が日本一であること等から、ベトナム航空の路線の更なる充実は大変重要である。このため、ハノイ線の機材の大型化、ホーチミン線の増便、ダナン線については、まずはチャーター便の就航をお願いしたい。また、ベトナムとの交流を深める取組の一つとして、『ベトナムフェスティバル』を本年も 11 月に開催予定である。なお、去年は、ベトナム人を始め約 13 万人が来訪した。」と発言しました。

続けて、名古屋商工会議所、中部経済連合会、中部国際空港株式会社からも、企業活動の観点等から、路線の充実を強く希望する旨の発言がありました。

これに対して、ハ CEO からは、「知事を始め皆様の御来訪と再会に感謝します。当社にとって、愛知をはじめ日本への路線は最優先の位置付けである。機材不足の課題等はあるが、ホーチミン線については、2025 年 3 月に現在の週 5 便から週 7 便への増便を、ダナン線については、2025 年 3 月からチャーター便の運航ができるようにしたい。更に旅客需要が安定すれば、ハノイ線を含め機材の大型化も検討する。また、今年のベトナムフェスティバルにも参加させていただく予定である。」と応じました。



愛知県の取組について説明する大村知事



大村知事からハ CEO へ記念品を贈呈



握手を交わす大村知事とハ CEO



集合写真

#### 4 ベトナム副首相兼外務大臣との面談（担当：国際課）

(1) 日時

2024年8月26日（月）午後5時40分から午後6時10分まで  
（日本時間8月26日（月）午後7時40分から午後8時10分まで）

(2) 場所

ベトナム首相府（ハノイ市）

(3) 面談者

ブイ・ティン・ソン ベトナム副首相兼外務大臣

(4) 愛知県側出席者

大村秀章知事

名古屋商工会議所 内田吉彦専務理事

一般社団法人 中部経済連合会 宮本文武常務理事

広瀬紀子ホーチミン・愛知観光大使

(5) 内容

大村知事は、ベトナム首相府を訪問し、ソン副首相兼外務大臣と面談しました。

まず、ソン副首相兼外務大臣は、「私は約1時間前に副首相に任命されたばかりであり、この大村知事との面談が副首相就任後、初めての要人との面談の機会となる。」と発言し、続けて、「愛知県とホーチミン市を始めとするベトナムとの関係は実質的な成果をもたらしている。愛知県とホーチミン市との人的交流の強化のみならず、両国間の経済分野において、特に愛知県の強みである自動車産業、都市鉄道、高速道路、高速鉄道などの分野でも成果があがることを期待している。」と発言しました。

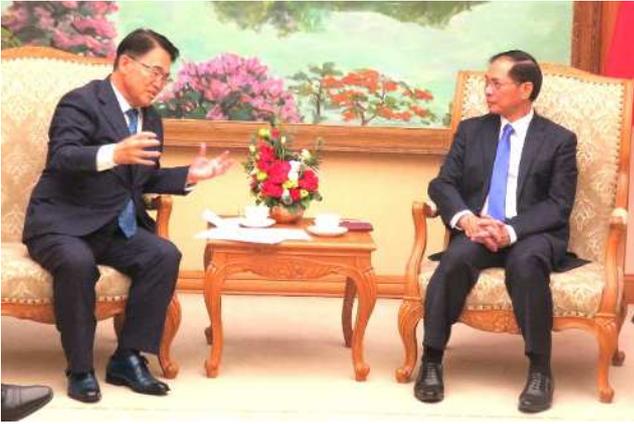
大村知事は、「貴殿の副首相へのご就任を心よりお祝い申し上げます。副首相就任後、初めての面談相手が私ということで、大変光栄に思う。」と副首相就任に対するお祝いの言葉を述べました。

続けて、大村知事は、「ベトナムを訪問するのは2019年以來6回目になるが、愛知県は2008年にベトナム計画投資省と『経済交流に関する覚書』を締結した。2009年には計画投資省内にサポートデスクを設置し、愛知県企業のベトナムへの進出を支援している。本日午前には、レ・アイン・トゥアン交通運輸副大臣と面談した。愛知県では、高速道路を民間企業が運営するPPP※を実践しており、6年前には当時のグエン・

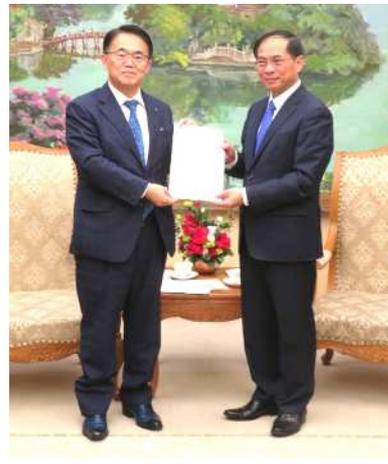
ゴック・ドン交通運輸副大臣に、そのシステムを御視察いただいた。トゥアン交通運輸副大臣にも、是非愛知県に来て PPP で運営している高速道路を見ていただきたいと申し上げた。国や県の予算を使うことなく、民間企業の資金で高速道路を拡充して新たなパーキングエリアや施設を造って運営しているものである。日本の国土交通省も JICA と一緒にベトナムにおいて PPP による道路の運営が成功するよう推し進めているところである。是非一緒に連携していきたい。そして本日午後には、ゴック計画投資副大臣と面談と行った。ベトナムには 207 社の愛知県企業が進出しており、トヨタ関連も入れればと 300 社以上となり、活発に事業を展開している。また、ベトナムに工業団地を造った日本の商社と協定を結び、愛知県企業を誘致するよう取り組んでいる。また、愛知県には全国最多の約 6 万人のベトナムの方がお住まいになり、自動車産業を中心に愛知県企業で働いている。そのため、愛知とベトナムの関係はとても深く、中部国際空港とベトナムを結ぶ直行便の存在が重要である。ホーチミン市ではベトジェットエアを訪問し、ホーチミン路線の新規就航をお願いしたところであり、本日、ハノイではベトナム航空を訪問し、ホーチミン路線の拡充とダナン路線の新規就航をお願いした。ソン副首相兼外務大臣からも御支援をお願いしたい。」と発言し、続けて、「愛知とベトナムは強く深く結びついており、これまでも愛知県内へのベトナム公館の開設をお願いしてきた。今回はチン首相及びロン副首相兼司法大臣宛ての要望書をお持ちしたので、お渡ししたい。」と発言し、要望書を手渡しました。

さらに、大村知事は、「本日同席している広瀬紀子ホーチミン・愛知観光大使が名古屋で毎年秋に『ベトナムフェスティバル』を主催している。昨年は 2 日間で約 13 万人が来場し、大いに盛り上がった。」と発言しました。

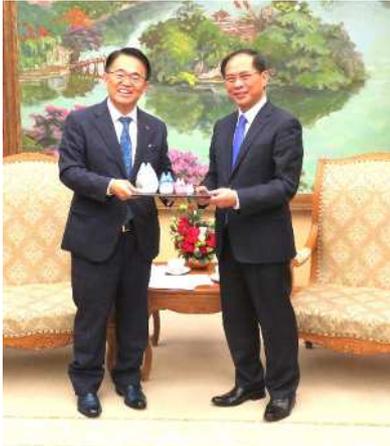
これに対し、ソン副首相兼外務大臣は、「大村知事のこれまでのベトナムと愛知県との関係強化への御尽力により、今回の 6 回目のベトナム訪問は以前よりも良い成果がでたのではないかと思う。お互いの人的交流を活発にし、両国の関係を緊密にしていこうとすることで、政治的な信頼関係の強化につながり、ひいては、両国の関係強化につながるものである。愛知県関連企業 300 社がベトナムに投資していることを歓迎したい。そして、この企業数を是非 2 倍にしていきたい。愛知県の強みである自動車産業、高速道路、新幹線などはベトナムに必要とされている分野であり、より多くの投資を期待したい。これまで大村知事始め愛知県の皆様が、愛知県に住む約 6 万人のベトナム人をサポートしてくださったことに感謝したい。大村知事が提案された中部国際空港とベトナムを結ぶ直行便の拡充については、ベトナムの航空会社が路線を新規開設や拡充するときは、大村知事のサポートをお願いしたい。」と発言し、両国の発展のために協力していくことを確認しました。



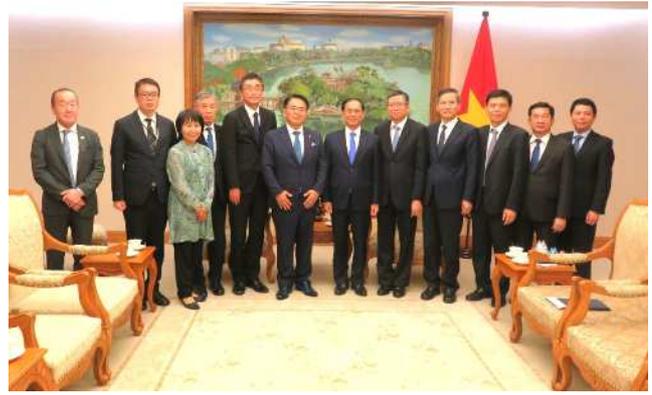
面談の様子



公館設置要望書手交の様子



ソン副首相兼外務大臣との記念撮影



面談出席者との記念撮影

※パブリック・プライベート・パートナーシップ  
公民が連携して公共サービスの提供を行うスキーム。

## 東南アジア渡航日程の概要（予定）

2024年8月18日（日）～8月27日（火）：8泊10日

日程 (現地時間)		主な行事	宿泊地	行事結果 発表予定 (日本時間)
8/18 (日)	8:20 9:30 11:15 17:05 18:50	中部国際空港発（JL3082） 成田国際空港着 成田国際空港発（JL725） スカルノハッタ国際空港着 前西ジャワ州知事との面談	ジャカルタ	8/19(月) 14:00頃
8/19 (月)	11:10 12:10 13:10 15:40 19:00	インドネシア国会副議長との面談 インドネシア外務副大臣との面談 インドネシア前副大統領との面談 インドネシア運輸大臣との面談 経済交流会（愛知県主催）	ジャカルタ	8/20(火) 14:00頃
8/20 (火)	11:40 14:25 15:50 17:00	スカルノハッタ国際空港発（GA832） チャンギ国際空港着 駐シンガポール日本国大使との面談 シンガポール第二貿易産業大臣兼人材開発大臣との面談	シンガポール	8/21(水) 14:00頃
8/21 (水)	10:25 12:40 15:55 17:15	シンガポール国立大学訪問 シンガポール副首相との面談 チャンギ国際空港発（TG414） スワンナプーム国際空港着	バンコク	8/22(木) 14:00頃
8/22 (木)	9:05 10:30 11:20 15:20	タイ工業大臣との面談 タイ副首相兼運輸大臣との面談 バンコク都副知事との面談 エアポートセールス（リアリークールエアラインズ）	バンコク	8/23(金) 14:00頃
8/23 (金)	11:20 13:10 14:30 17:25	スワンナプーム国際空港発（VN600） タンソンニャット国際空港着 エアポートセールス（ベトジェットエア） ホーチミン市人民評議会議長との面談	ホーチミン	8/24(土) 14:00頃
8/24 (土)	7:30 8:50 13:15 15:50	ホーチミン市人民委員会委員長との面談 サイゴン大学訪問 ビンタイフード BINHTAYFOOD訪問 エスハイ ESUHAI訪問	ホーチミン	8/25(日) 14:00頃

日程 (現地時間)		主な行事	宿泊地	行事結果 発表予定 (日本時間)
8/25 (日)	13:00 15:15	タンソンニャット国際空港発 (VN248) ノイバイ国際空港着	ハノイ	—
8/26 (月)	11:00 14:05 15:45 17:40	ベトナム交通運輸副大臣との面談 ベトナム計画投資副大臣との面談 エアポートセールス (ベトナム航空) ベトナム副首相兼外務大臣との面談	機中	8/27(火) 14:00 定例知事会見時
8/27 (火)	0:15 6:55	ノイバイ国際空港発 (VN346) 中部国際空港着	—	—

※日程については、調整中であり変更となる可能性があります。

※行事の予定時間は現地時間、行事結果の県政記者クラブへの配布予定時刻は日本時間です。

※現地時間は以下のとおりです。

- ・インドネシア、タイ、ベトナム      日本時間－2 時間
- ・シンガポール                              日本時間－1 時間